２０１６年（平成２８年）３月２２日　火曜日
東奥日報新聞　１１面　掲載

第88回 センバツ 高校野球
第２日

第88回選抜高校野球大会第２日は21日、甲子園球場で１回戦３試合が行われ、釜石（岩手）龍谷大平安（京都）八学光星が勝ち、２回戦に進出した。序盤で主導権を握った八学光星は中盤にも加点して突き放し、開星（島根）を６―２で破った。釜石は三回、佐々木航の中前打で先制すると、八回には奥村の適時二塁打で加点。岩間が反撃を九回の１点に抑え、２―１で小豆島（香川）との21世紀枠対決を制した。釜石は甲子園初勝利で、岩手勢は春通算10勝目。三回に橋本、岡田の連続本塁打で２点を勝ち越した龍谷大平安はその後も攻撃の手を緩めず、７―１で明徳義塾（高知）を下した。

光星 初戦突破

開星に主導権渡さず

▽1回戦（13時45分、32000人）

開　星（島根）	002	000	000	2
八学光星	120	012	00×	6

（開）吉川―元谷
（光）櫻井―奥村
▽二塁打　福間、奥村▽犠打　門脇2、奥村、小池▽盗塁　伊藤▽失策　門脇2、小白出、小林▽暴投　吉川
▽試合時間　1時間47分

【評】投打がかみ合った八学光星が、3年連続で初戦を突破した。初回2死三塁の好機に、益田の内野安打で先制。二回は小池、徳田、伊藤の3連打で2点を追加し、試合の主導権を握った。3―2と1点差に詰め寄られて迎えた五回には、奥村が右中間への二塁打で出塁すると、益田の中前適時打で生還。六回にも相手のミスに乗じて2点を加えるそつのない攻めで突き放した。主戦櫻井は三回までに5安打を浴び2失点したが、中盤には制球が定まって立ち直り、四回以降は相手打線を2安打に封じて逃げ切った。

自分たちのペースに

八学光星・仲井宗基監督　初回、ラッキーな形で点数が入って自分たちのペースで試合ができた。開星の吉川投手が手ごわいと感じていたが、選手たちが冬場の練習を信じてやり切ってくれた。櫻井も最後まで粘り強く投げてくれた。

守りのミスが敗因

開星・山内弘和監督　守りのミスが敗因。普段通りにやろうと伝えてきたが、経験したことのない観客の多さに選手が緊張してしまった。1、2点の失点は仕方がないと思っていた。2―3まで追い上げたところで、痛いミスが出てしまった。

櫻井耐えた 140球完投

失点で気合注入

櫻井

フォーム修正 4回以降相手打線手玉

ヒーロー

序盤の乱調から、身上とする「粘り強い投球」で立ち直った。140球を投げ抜き、9奪三振2失点完投した八学光星の主戦櫻井は「まずは1回戦を勝ててホッとしている」と笑みをこぼした。

「緊張はない。早く試合がしたい」と意気込んでいたエース。だが、大観衆が見詰めるマウンドに上がると「緊張して体がふわふわしてしまった」という。球は浮き気味。初回は先頭打者に四球を与え、被安打2。なんとか無失点で切り抜けたが、三回は長短打3本を許し、2失点。1点差に詰め寄られたところで、ようやく目が覚めた。「気合を入れ、全力で投げるだけだ」

下半身を軸にした本来のフォームを確認しながら投げると、武器の直球の制球が少しずつ定まり始め、相手打者のインコースを鋭く突いた。女房役の奥村主将からは「（相手は）縦の変化に弱い」と助言を受け、100㌔を切る緩いカーブも効果的に活用。自分らしさを取り戻した右腕は、相手打線を手玉に取って四回以降は三塁を踏ませず、散発2安打に封じた。

10安打で6点を奪った打線の援護に「あれだけ打つとは思わなかった。楽に投げられた」と感謝。仲井監督は「気持ちの強さ、粘り強さを出し、彼本来の投球をしてくれた」とねぎらった。

次の相手は2年前のセンバツ2回戦で2―8と完敗した龍谷大平安（京都）。ここ2年、八学光星は2回戦で姿を消しており、櫻井は「勝って先輩たちを超えたい。龍谷大平安は強いが、抑える自信はある」と闘志を燃やした。

（本田海輝）

開星吉川「まだまだ」

○…開星の吉川は制球力の重要性を痛感させられた。一回から140㌔台の速球を軸に投げ込んだが、相手強力打線は甘い球を見逃さず6失点。「全国ではまだまだ通用しない。もっとコースを突かないと」と振り返った。

2―4の六回には遊撃手の失策からさらに傷口を広げた。山内監督は「（甲子園で）守りのミスでの失点は取り返せない。投手を含めて守備を見直したい」と夏に向けた課題を口にした。

応援歌に乗せ一緒に

○…八学光星の応援歌として使われている「だいじょうぶ」を作詞・作曲したむつ市のシンガー・ソングライターの板橋かずゆきさん(46)が一塁側アルプススタンドでナインに声援を送った。

板橋さんが八学光星を応援するため甲子園を訪れたのは2014年のセンバツ以来2年ぶり。音楽活動で全国各地を回る多忙な日々を送っているが、ちょうど19、20日に岡山県内でコンサートがあったため「ぜひ曲に乗せて応援したい」と駆け付けた。

チームは前回応援した時も勝利したという。「一時は迫られたが、今回も大丈夫だと思っていた。まずは1勝して良かった」と感激した様子。「ぜひ次は県勢同士の決勝戦に来たい」と笑顔で話した。

先制ホームインに2安打 打線けん引

1番伊藤「いい仕事」

ロッカールーム

八学光星の切り込み隊長伊藤が、3打数2安打2打点と攻撃をけん引。50㍍5秒9の自慢の快足を生かして盗塁も決め「塁に出てホームにかえってくるのが役割。いい仕事ができた」と充実した様子で話した。

「伊藤の出塁が勝敗に大きく関わる。なんとか塁に出てほしい」―。試合前に仲井監督が口にした願い通りの試合展開になった。初回は四球で出て、先制のホームイン。六回には相手を突き放す適時打で出塁。盗塁と暴投で三進後、奥村の適時打で生還するなどグラウンドを駆け回り、指揮官の期待に応える活躍を見せた。

高校1年生の12月、「チームのために」と、右打者からより足を生かせる左打者へ転向。以降、左方向を意識した打撃を心掛け、この日の2安打も左側だった。

田村（ロッテ）、北條（阪神）の活躍を目にし、八学光星を志したという伊藤。「自分たちの代で、東北初の全国制覇を果たしたい」と意気込んだ。

（本田海輝）

4番益田 24打点「ほっとした」

龍谷大平安 2者

甲子園通算97勝 明徳義

▽1回戦（11時15分、46000人）

龍谷大平安（京都）	012	020	200	7
明徳義塾（高知）	010	000	000	1

（平）市岡―竹葉
（明）中野、北本、林田―古賀
▽本塁打　橋本1号①（中野）＝三回、岡田1号①（中野）＝三回
▽二塁打　古賀、竹内▽犠打　竹葉▽盗塁　市岡、冨田▽失策　竹内▽暴投　市岡2▽ボーク　市岡、北本
▽試合時間　1時間54分

【評】龍谷大平安が15安打7得点で快勝した。二回に竹内の適時打で先制すると、三回には橋本、岡田の2者連続本塁打で2点を追加。五、七回にも2点ずつ加えて突き放した。完投した市岡は緩

流れ変えた2発

「100勝」へ再出発

龍谷大平安

龍谷大平安がPL学園と並んでいた春夏通算甲子園勝利数を97に伸ばし、中京大中京（133勝）に次ぐ単独2位とし

東奥日報社提供